

製品名: GLP1 (12F5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11471**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:1000-1:10000,IF-P 1:1000-1:10000
分子量	21kDa

抗原情報

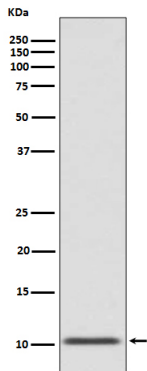
遺伝子名	GCG
別名	GCG; GLP-1(7-36); GLP-1(7-37); GLP-2; GLP1; GLP2; Glucagon; GRPP; preproglucagon;
遺伝子 ID	2641.0
SwissProt ID	P01275
免疫原	ヒト GLP1 の合成ペプチド

背景

グルカゴンを含む様々なホルモンによってグルコースの恒常性は調節されています。グルカゴンは前駆分子であるプログルカゴンとして合成され、膵島α細胞でタンパク質分解を受けて成熟ペプチドへと変換されます。グルカゴンはグリコーゲンからのグルコースの遊離を引き起こし、肝臓における糖新生を刺激します。[グルカゴン]: グルコース代謝と恒常性維持において重要な役割を果たします。糖新生を促進し、解糖を抑制することで血糖値を調節します。インスリンの拮抗調節ホルモンであり、インスリン誘発性低血糖に反応して血漿グルコース濃度を上昇させます。糖尿病における高血糖状態の発現と維持に重要な役割を果たします。

研究分野

画像データ



ヒト胎児膵臓溶解物中の GLP1 発現のウェスタンブロット分析。